

くらべて、選ぶ

年 組 番 名前

この紙のゴール：同じ観点で2つを比べ、対比の語でつなぎ、最後にどちらかを選び切る

お題 Compare the two and say which one you would choose.

2つをくらべ、どちらを選ぶかを1段落で書きなさい。「どちらもいい」で終わらない。（85語くらい） **思考・判断・表現**

書く前に

- 1. 表を見て、ちがいが大きい観点を2つえらぶ（日本語でよい）。
- 2. 設計図の順に英語にする。1つの観点の中で必ずAとBの両方に触れる（片方だけ長くしない）。

資料 Two ways to study English outside class

	Cost	When	Who with
A. Online lessons	3,000 yen a month	any evening	one teacher
B. Study group	free	Saturday only	three classmates

授業用の例です（実在のサービスではありません）。学校のまわりの数字に置きかえられます。

気づきメモ ちがいが大きい観点を2つ、日本語で

観点1	
観点2	

設計図 この順に書く

1	何と何をくらべるか（1文）	何と何を並べた表かを1文で。数字は要らない。
2	観点1（1～2文）	1つ目の観点。AとBの両方に触れ、対比の語でつなぐ。
3	観点2（1～2文）	2つ目の観点。ここでも両方に触れる（片方だけ書かない）。
4	どちらを選ぶか（1文）	自分ならどちらか。ここで初めて「私」が出る。
5	ゆずる1文（1文）	選ばなかった側の良さを1つ認めてから、自分の基準を言う。

書き出し語のない行は、自分で書き出しから決めます。

書く 85語くらい **思考・判断・表現**

読み返す 書けたらペアで交換して、この3つだけを見る

- ☐ 1つの観点の中で、AとBの両方に触れているか
- ☐ 対比の語（while / whereas）が入っているか
- ☐ 最後にどちらかを選び切ったか

くらべて、選ぶ（発展） | モデル答案と採点

モデル 和訳なし（読み上げて型だけ確認する用）

モデルA（88語）

This table compares online lessons and a study group at the library. In terms of cost, the study group is free, whereas online lessons cost 3,000 yen a month. Time works the other way around: the lessons are open any evening, while the group meets only on Saturday. The third difference is who you talk with, one teacher or three classmates. If I had to choose, I would choose the online lessons. The study group is better in cost, but for me, being corrected every week matters more.

モデルB（36語） ※直したい答案

Online lessons are more convenient. They are also more expensive. The study group is cheaper, but you can go there only on Saturday. I think online lessons are better because they are more useful for me.

どこで差がつくか

Bの1文目と最後の1文には、それぞれ別の弱点があります。指摘しよう。

1文目は**比べる相手がない**（than the study group が要る）。最後の1文は**理由が言いかえて止まっている**—useful は convenient の言いかえで、表のどこから言えるのかが無い。

切り返しの型（発展版だけが足す1文）

・最後の1文は ... is better in ..., but for me, ... matters more. の形で、**両方を見た上で選んだ**と伝わるので、二次の意見論述でも同じように効きます。

つまづき 返ってくる答案の型（誤答例から書いた指導のことは）

片側だけ長くなる	Aについて3文、Bについて1文—いちばん多い崩れ方。1つの観点の中で必ず両方に触れると決めれば直ります（設計図を観点で切っただけなのはこのため）。
「どちらもいい」で終わる	Both are good. は読み手が最初から知っていること。選ぶ1文が結論です。迷うなら、自分の基準を1つ決めてから選ぶ。
比較級の「相手」がない	... is more convenient. は何より便利なのかが無い。比較級のうしろには than—表の上で比べている以上、相手は必ず紙の上にあります。

評価 加点式9点（減点式にしない）

何と何を比べているかを1文で示している	+2	思判表
1つ目の観点で、AとBの両方に触れている	+2	思判表
2つ目の観点でも、AとBの両方に触れている	+2	思判表
最後にどちらかを選んで言い切っている	+2	思判表
通して読んで意味がとれる（細かい誤りは数えない）	+1	知技

01「データを説明する」が1つの調査を言葉にする型なら、こちらは2つを並べて選ぶ型。定期テストに移すなら**同じ表を配って60語以内・10点（内容4・構成3・言語3）**が扱いやすく、構成の3点は「観点でそろっているか」に当てられます。

40人を回す 週1で書かせても採点で潰れないための手順

- ・表は1つ作れば1年使えます。**自分の学校の実情**（塾と自習室、部活2つ、通学手段2つ）に置きかえると、選ぶ場面が本物になります。
- ・配分は書く10分+3つの目3分+良い段落を2本映して5分。「選ぶ1文」だけを読み上げると、同じ表から違う結論が出ることが一目で伝わります。
- ・01を先にやった学級は、書き出しが同じ形（This table ...）なので標準版から入れます。

3つの版の使い分け 論題・書く型・測る力は3版共通で、変えているのは支援の量だけです（基礎＝理由の候補と書き出し語を全部／標準＝立場と譲歩だけ／発展＝型のみ、譲歩に切り返しの1文）。同じクラスで配り分けても、答案は同じ観点で並べて読めます。

